

岩手県立大学 総合政策研究科 博士後期課程 アセスメント・ポリシー

【ディプロマ・ポリシー】

No	内 容（学生が修了までに身につけるべき能力）
DP1	学界に対し学術的に貢献しうる先進的な研究課題を設定できる。
DP2	急激な社会等の変化を敏感に察知し、又は先んじて自らの行動や研究テーマを柔軟に変えることができる。
DP3	問題に対して高度に専門的な調査分析方法を開発し、効果的に適用できる。
DP4	問題の解決のために、学際的な視点を踏まえた考察ができる。
DP5	思考の結果を学問的に厳正な方法で他の研究者に伝えられる。
DP6	研究の過程を適切な方法で管理できる。

【アセスメントの実施計画】

	項目	方法	時期	対応 DP	結果の活用（公開方法）	実施者
1 年次	研究指導計画書 1	入学時計画を踏まえ具体的テーマと方法を定める	4 月	DP1、4	研究科委員会で内容の審議・確認	総合政策研究科
	研究成果報告書 1	成果・課題を確認し次年度の作業方針を定める	3 月	DP1、3、4、6	研究科委員会で内容の審議・確認	総合政策研究科
2 年次	研究指導計画書 2	1 年次報告を踏まえ具体的テーマと方法を定める	4 月	DP1、2、3、4	研究科委員会で内容の審議・確認	総合政策研究科
	研究指成果告書 2	成果・課題を確認し最終年度の作業方針を定める	3 月	DP1、3、4、6	研究科委員会で内容の審議・確認	総合政策研究科
3 年次	研究指導計画書 3	論文完成に向けた作業内容・スケジュールの確認	4 月	DP1、2、4	研究科委員会で内容の審議・確認	総合政策研究科
	中間発表会	研究科全体での指導	5 月	DP3、4、5、6	学内外に公開する	総合政策研究科
	学術論文の作成・発表	学術論文（査読付き）2 編以上の採択	2 月	DP3、4、5、6	論文認定委員会による審議・確認	総合政策研究科
	博士論文発表会	研究成果の対外的発表	2 月	DP4、5、6	論文の公開 論文概要の公開（総合政策学会「総合政策」）及び機関リポジトリによる本文の公開	総合政策研究科